

無償資金協力に係る事後評価票

(注)本案件は外務省評価案件であり、外務省による一次評価を踏まえ外部有識者による二次評価を実施していますので、評価項目ごとの二次評価結果を追記しています。
二次評価の概要については、外務省ホームページに掲載されている無償資金協力におけるプロジェクト・レベル事後評価報告書(平成20年度)をご参照下さい。

担当公館名：在タンザニア日本国大使館	
国名：タンザニア	案件名：感染症対策計画（2／2期）
E／N署名日：2003年7月29日	供与限度額：4.89億円
先方実施機関：保健省	完工日：2005年3月24日
他の関連協力：なし	
1. 案件の目的 (B/D 時の目標・想定効果を記載)	①HIV対策計画として、VCT (Voluntary Counseling and Testing : 自発的カウンセリング及び検査) 機関の活動を強化し、輸血や性感染 (STIs : Sexually Transmitted Infections) によるHIV感染のリスク拡大を防止することを目標とする。②予防接種拡大計画として、保存用冷蔵機材等の整備によりワクチンの品質劣化を防止し、予防接種効果の向上を目標とする。
2. 案件の内容	①HIV対策計画：HIV検査キット（キャピラス、デターミン等、15万人分）、検査室用機材（真空採血管、注射針等）、医療従事者の二次汚染防止機材（感染症医療廃棄物袋等）、梅毒検査キット（約33万人分）及びSTIs治療薬の調達資金の提供。 ②予防接種拡大計画：ワクチン保存用冷蔵庫（ガス式冷蔵庫695台）、温度監視用機材（温度計等）等の調達資金の提供。
3. 案件の妥当性	全般的評価：A (外部有識者による二次評価:A) 下記3点に合致し、案件妥当性は十分にあると判断される。 ① 我が国の被援助国に対する援助指針 我が国が2000年6月に策定した「対タンザニア国別援助計画」では、「人口・エイズ及び子供の健康問題への対応」を重点分野・課題別援助方針として位置づけており、本案件は当該援助方針に沿っている。 ② 被援助国により策定された開発戦略 2001年、「HIV/AIDSに係る国家政策 (National Policy on HIV/AIDS)」が制定され、2003年には「HIV/AIDS国家マルチセクター戦略枠組み (NMSF: National Multi-sectoral Framework Strategy on HIV/AIDS)」が策定された。NMSFにおいて国家エイズ委員会の役割が強化されるとともに、以下の具体的な達成目標が掲げられている。 <ul style="list-style-type: none">・ 15～24歳の感染率を現在より30%減少させること・ 15～24歳の人口の95%に対してエイズ教育を行い、HIV感染への誤解を解き、正しい感染防止策等を理解させること・ 70%の性感染症患者への適切な診断、治療の機会を提供すること・ 10～14歳に占めるHIV遺児の割合を減少させること タンザニア政府が2000年にまとめた貧困削減戦略書においては、2003年までに2歳までの予防接種完了率を81%とし、2010年までに5歳未満児死亡率を半減させることが掲げられている。

	<p>本案件はこれら戦略枠組み、貧困削減戦略書に設定されている目標の達成に貢献するものである。</p> <p>③ 現地でのニーズ（優先地域、裨益人口等）</p> <p>（1）HIV/AIDS</p> <p>タンザニアのHIV感染者は1999年末で130万人、死亡者数は14万人と報告されている。タンザニア保健省は2004年の報告において、HIV感染者数184万人、15歳から49歳の人口の7%がHIV陽性と推計しており強力なHIV対策が必要とされている。</p> <p>（2）予防接種</p> <p>タンザニアにおける予防接種率は70~80%であるが、ポリオワクチンの接種率が低下しているとともに、麻疹ならびに新生児破傷風の発症件数が増加傾向にある。これらの状況からより良質の予防接種サービスが求められているが、1999年の調査結果ではワクチンを扱う機関の適正な品質管理（コールドチェーン）を行うための機材（冷蔵庫）の14.5%が故障しているとの報告があり、早急なコールドチェーンの整備、機材の更新が望まれている。</p>
4. 施設／機材の適切性・効率性	<p>全般的評価：A（外部有識者による二次評価：A）</p> <p>① HIV対策計画</p> <p>HIV及び梅毒検査キットはその使用期限が製造後1年前後であるため、四半期毎に調達・輸送し、使用サイト到着時で可能な限りの使用期限の確保を講じた。調達・輸送の頻度は適切であったと判断される。州・県病院等に配備されたHIV検査キット及びSTIs治療薬は検査・治療において殆どが消費（使用期限が過ぎたものは廃棄）されており、数量、種類とも適切・効率的な投入であったと判断される。</p> <p>② 予防接種拡大計画</p> <p>対象とした3州（アルーシャ州、キリマンジャロ州、ムベヤ州）の予防接種所において供与したガス式冷蔵庫数は合計695台である。基本設計調査時に、同様の機材供与を支援しているデンマーク国際開発援助庁の供与計画を確認した上で、重複のないよう必要数を配備した。冷蔵庫の配備においてはこれら他機関との連携により適切な数量の投入がなされたと判断される。供与したガス式冷蔵庫は概ね良好に使用されている。</p>
5. 効果の発現状況（有効性）	<p>全般的評価：A（外部有識者による二次評価：A-）</p> <p>基本設計調査で想定した直接効果及び間接効果とも総じて発現していると判断される。</p> <p>① HIV対策計画</p> <p>タンザニアにおいて、2003年から2006年までのVCTサービス利用者のHIV検査数は以下のとおり増加しており、HIV検査による感染予防対策が全国レベルで強化されていると判断される。</p>

	<p>《VCTサービス利用者のHIV検査数》</p> <table> <thead> <tr> <th>2003年</th><th>2004年</th><th>2005年</th><th>2006年</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>315,360</td><td>379,461</td><td>529,542</td><td>675,396</td></tr> </tbody> </table> <p>②予防接種拡大計画</p> <p>生後12ヶ月から23ヶ月までの乳児の予防接種完了率は、1999年の予測値68%に対し、本案件の実施後の2004年時点で71%であり、ほぼ横ばいであるが若干の向上が見られる。また、本案件の実施により、適切な温度でワクチンを管理することが可能となる予防接種所695ヶ所が増加している。</p>	2003年	2004年	2005年	2006年	315,360	379,461	529,542	675,396
2003年	2004年	2005年	2006年						
315,360	379,461	529,542	675,396						
6. インパクト (上位目標 への影響 等)	<p>全般的評価：A (外部有識者による二次評価:A-)</p> <p>①HIV対策計画</p> <p>下記のとおり、15~49歳に占めるHIV感染率の割合が減少しており、「HIV/AIDS国家マルチセクター戦略枠組み(NMSF)」の達成目標「3. 参照」に肯定的な影響を及ぼしたと判断される。</p> <p>《HIV感染率(15~49歳)》</p> <table> <thead> <tr> <th>2002年</th><th>2003年</th><th>2004年</th><th>2005年</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9.6%</td><td>8.8%</td><td>7.0%</td><td>6.5%</td></tr> </tbody> </table> <p>②予防接種拡大計画</p> <p>生後12ヶ月から23ヶ月までの乳児の予防接種完了率は、本案件の実施後の2004年時点において71%であり、近年ほぼ横ばいであるが、若干の向上が見られる。5歳未満死亡率は1000人中156人(1999年)から112人(2004年)に低下するなど、タンザニア政府が貧困削減戦略としてまとめた目標の達成に肯定的な影響を及ぼしたと判断される。</p>	2002年	2003年	2004年	2005年	9.6%	8.8%	7.0%	6.5%
2002年	2003年	2004年	2005年						
9.6%	8.8%	7.0%	6.5%						
7. 自立発展性・さらなる改善の余地 (改善の余地がある点については 以下に記入)	<p>全般的評価：B (外部有識者による二次評価:B)</p> <p>タンザニア政府による自主努力が確認されている。</p> <p>① HIV対策計画</p> <p>タンザニア政府は「HIV/AIDS国家マルチセクター戦略枠組み(NMSF)」、「保健セクターHIV/AIDS戦略(HSS)2003-2006」に沿った対策の一つとして、VCTサービスの強化を進めている。VCTセンターは急速に増設されており、タンザニア政府の自主努力が確認される。</p> <p>《VCTサービスセンター数》</p> <table> <thead> <tr> <th>2003年</th><th>2004年</th><th>2005年</th><th>2006年</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>480ヶ所</td><td>573ヶ所</td><td>806ヶ所</td><td>1028ヶ所</td></tr> </tbody> </table> <p>(前年比19%増) (前年比41%増) (前年比27%増)</p> <p>タンザニア政府は、「保健セクターHIV/AIDS戦略(HSS)2003-2006」を策定し輸血用血液の安全対策、HIV感染者へのカウンセリング、性感染症治療等によってHIV/AIDS対策活動を強化している。</p>	2003年	2004年	2005年	2006年	480ヶ所	573ヶ所	806ヶ所	1028ヶ所
2003年	2004年	2005年	2006年						
480ヶ所	573ヶ所	806ヶ所	1028ヶ所						

	<p>② 予防接種拡大計画</p> <p>州・県に配置されたコールドチェーン担当者が機材の修理・管理を行っている。予防接種所での日常の保守点検はトレーニングを受けた看護婦・診療助手が実施している。運営・維持管理においてタンザニア政府による継続的な費用負担及び「ワクチン予防接種のための世界基金」の活用等、タンザニア政府の自主努力が確認されている。</p>
(1) 対応方針	自立発展性の観点からタンザニア政府に対し、独自に機材調達を進めるべく引き続き他財源や自主財源の確保に努めるよう求めていく。
8. 広報効果(ビジビリティ一)	<p>全般的評価： A + (外部有識者による二次評価: A -)</p> <p>本件のE／N署名式の様子はテレビで放映されるとともに、タンザニアの主要英語紙、スワヒリ語紙に支援内容とともに掲載された。各検査キット、S T I s 治療薬については、種類毎に梱包した箱に日本の国旗と我が国からの支援によるものである旨の表示がなされている。配備したガス式冷蔵庫にも同様の表示がなされており、これらを扱う州・県の病院、V C T サービス機関及び予防接種所等に従事する医療関係者には我が国からの支援であることが十分認知されており、併せて受診者にも認知されているものと判断される。</p>
9. 被援助国による評価 (外交的効果についても、本欄に記述する)	H I V テストキットに関しては、「タ」保健・福祉省が提供するキット数の約 50%を我が国無償協力が調達している状況にある。タンザニア政府は、2007 年 7 月から 12 月までの期間、国家H I V 検査キャンペーンを開催した。同キャンペーン開会式当日には 1 万人近い市民が詰めかけ、政府、外交団、ドナー関係者からH I V テストを市民に呼びかけるものとなった。外交団を代表してスピーチを行ったのは米、独、日本の 3ヶ国のみであり、タンザニアのH I V 対策支援に多大なる貢献を行っている国のみが選ばれたと考えられる。H I V 検査キットの供与を含む、V C T サービス及びS T I s サービスの強化に係る日本の支援プレゼンスは、当地政府関係者、ドナー、医療施設等においても高く認識されている。
10. 提言・教訓	本案件は、平成 12 年 2 月に実施された「日米コモンアジェンダ合同プロ形調査団」により形成されたものであり、我が国がテストキット、S T I s 治療薬を供与し、米国がそれらの発注・供給システムの強化を図るという連携効果が発現している案件であり、他スキーム、他ドナーとの連携という観点から好事例であると判断される。